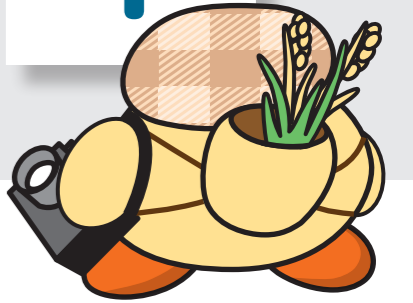


9月

1



知って、備える

皆さんは9月1日が何の日か知っていますか。9月1日は「防災の日」で、今から100年前の1923年9月1日に発生した関東大震災がその由来です。関東大震災はマグニチュード7.9、最大震度6を観測し、全半壊・消失・流出・埋没の被害を受けた住家が370,000棟にのぼり、死者・行方不明者が105,000人に及ぶなど甚大な被害をもたらした大地震です。

そこで、今月は地震の仕組みや備えておいてほしいことを紹介します。

問合せ先 防災対策室防災対策係 ☎ 35-4823

市職員が出演して説明します
8月18日(金)
午後5時40分



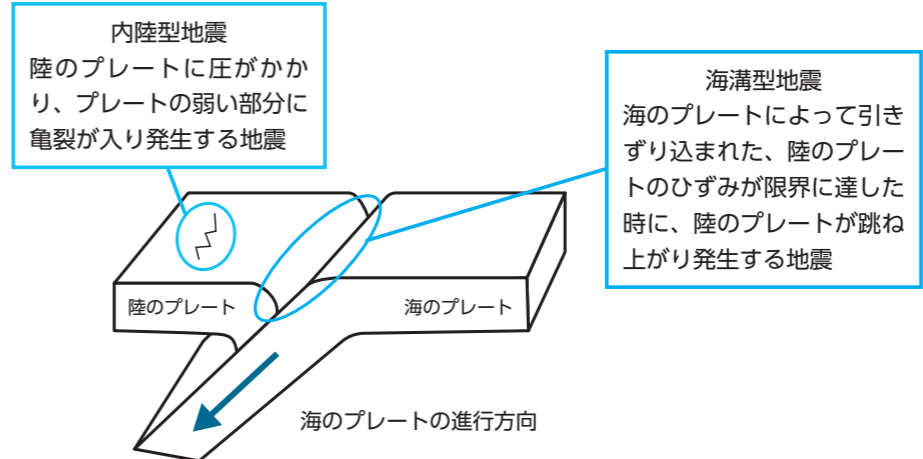
防災週間

8月30日から9月5日までの1週間は「防災週間」です。防災に関するイベントなどが全国的に行われます

地震の種類

地球の表面は「プレート」と呼ばれる板のような岩の層で覆われています。日本は海のプレートである太平洋プレートとフィリピン海プレート、陸のプレートである北米プレートとユーラシアプレートが接する境界に位置しています。海のプレートは、陸のプレートの下に1年間に数センチメートルのゆっくりとした速度で沈み込んでいきます。海のプレートに引きずり込まれた陸のプレートは先端部にひずみがたまり、100年から200年くらいでこのひずみの蓄積に限界がきて、陸のプレートの先端部が跳ね上がります。このときの衝撃で起きるのが「海溝型地震」で、2011年の東日本大震災のような巨大地震につながるケースがあります。また、日本列島は、プレートの移動により圧縮されひずみが蓄積し続けており、このひずみが限界まで達すると、日本列島を載せている陸のプレートの中で断層（強度が弱い場所）が壊れてずれ動きます。これが「内陸型地震」です。この地震は、私たちの住む地面のすぐ下、5から20キロメートル程度の比較的浅い所で起き

るため、私たちの生活に大きな影響をもたらします。美唄市から安平町にかけてある石狩低地東縁断層帯という活断層が岩見沢市の下を通っているため、内陸型の地震に注意が必要です。



マグニチュードと震度

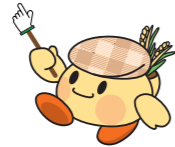
マグニチュードは地震そのものの大きさ、つまり地震の規模（エネルギー）を表します。震度は場所ごとにそれぞれ決まりますが、マグニチュードは一つの地震に対して一つの数字しかありません。震源から出てくるエネルギーの大きさによってマグニチュードの数字は決まるので、大きな地震ほど数字が大きくなります。

震度は、その場所がどのくらい揺れたかを表します。同じ地震であっても、震源からの距離や地盤の揺れやすさなどで、揺れの大きさは変わります。日本では、震度を0から7までの数字で表し、そのうち震度5と6は弱と強の2つに分かれているので、合計で10段階あります。それぞれの震度でどのような揺れを感じるのか、左の表で確認しておきましょう。

震度	体感
0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される
1	屋内で静かにしている人の中に、揺れをわずかに感じる人がいる
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中に、目を覚ます人がいる
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中に、揺れを感じる人がいる。眠っている人の大半が、目を覚ます
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます
5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまらなると感じる
5強	大半の人が、物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる
6弱	立っていることが困難になる
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れに翻弄され、動くこともできず、飛ばされることもある
7	

気象庁「気象庁震度階級関連解説表」より

「全部ではないが、全部に近い。をほとんど、半分以上でほとんどよりは少ない、を大半と表しています」



緊急地震速報

地震の発生をできるだけ早く伝えるために、気象庁が発表するのが緊急地震速報です。緊急地震速報の発表から強い揺れを感じるまではわずかな時間しかありませんが、被害の軽減のためにとっさに身を守る行動を取ることが出来ます。

緊急地震速報の発表基準

緊急地震速報は最大震度5弱以上が予想されたときに、震度4以上が予想される地域に対して発表されます。また、令和5年2月1日からは、長周期地震動階級3以上を予想した場合にも発表しています。

長周期地震動階級とは

固有周期（建物が揺れる時、揺れの一往復にかかる時間）が1から8秒程度の揺れが生じる高層ビル内における、地震時の人の行動の困難さの程度や、家具や什器の移動・転倒などの被害の程度から4つの段階に区分した揺れの大きさの指標です

長周期地震動階級	体感
1 (やや大きな揺れ)	屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる
2 (大きな揺れ)	屋内で大きな揺れを感じ、物につかまらなると感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる
3 (非常に大きな揺れ)	立っていることが困難になる
4 (極めて大きな揺れ)	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れに翻弄される

気象庁「長周期地震動階級関連解説表」より



揺れによってドアが開かなくなることがあるため、余震に備えてドアを開けて逃げ道を作る



火を使っている場合は火を消してガスの元栓を閉める



漏電や火災を防ぐためにブレーカーを落とす

揺れが収まった後

緊急地震速報を受け取ろう



エリアメール

対象エリア内のスマートフォンや携帯電話に、気象庁などが配信する情報です。登録は不要で、緊急地震速報の他にも、弾道ミサイル発射事案や市からの避難情報などが配信されます。

岩見沢市メールサービス

市で行っている登録制のメール配信サービスです。エリアメールで配信することができない気象警報の発表、避難所の開設・自主避難の受け入れ情報、台風の接近情報、河川の水位上昇に伴う注意喚起なども配信しています。

希望する方には、市内の犯罪警戒情報、停電に関する情報、休日当番医の情報、除排雪の情報なども配信しています

岩見沢市メールサービス登録手順



- ①二次元バーコードを読み取りメールを送信する。読み取れない場合は kara-mail@mail.bousai-iwamizawa.jp を入力し、メールを送信する
 - ②返信されたメールの URL にアクセスし、手順に沿って登録する
 - ③登録完了のメールが届く
- ※パケット定額サービス未加入の方は1通約3円の通信料がかかります。

Yahoo! 防災速報 (アプリ)

緊急地震速報や市からの災害に関するお知らせなどの緊急情報を配信しています。また、情報を受け取る地域(市町村)を3箇所まで設定できるため、離れて暮らしている家族や親戚が住んでいる地域に危険が迫っているかを確認することができます。

緊急告知 FM ラジオ

緊急地震速報や避難情報の発令があった際に、電源を切っても自動で音声の流れで情報をお知らせします。



自動でお知らせする内容

- 緊急地震速報 ●避難情報の発令
 - 特別警報の発表 ●ミサイルの発射情報
- 販売価格 町会・自治会、個人：2,000円
事業所：4,000円
販売場所 防災対策室、北村・栗沢両支所、FMはまなす(有明町南1 コミュニティプラザ1階)



ios版



Android版

日ごろからの備え

地震による被害を軽減するために

- 倒れた家具によって逃げ道がふさがらないよう、部屋の出入り口付近に家具を置かない
- 背の高い家具はL字型金具や突っ張り棒で固定する



- 棚に物を入れるときは重心を安定させるため、下に重い物を入れ、上に軽い物を入れる

- 寝室に家具を置かない

- 窓ガラスに飛散防止シートを貼る

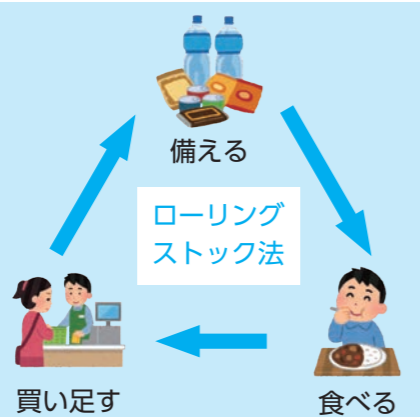


食料備蓄

大地震が発生した際は物流が滞り、食料品や日用品が不足することが考えられます。国などからの支援物資の到着には一般的に3日程度、被害状況によってはそれ以上かかることが予想されます。そのため、各家庭で最低3日分、できれば1週間分の食料を備蓄しておくようにしましょう。

ローリングストック法

普段から水や食料を少し多めに備蓄しておき、消費期限の近いものから、日常生活の中で消費し、消費した分を買い足すことで、無駄なく、常に一定量の備蓄をすることができる方法です



3日分の食料備蓄の目安 (1人分)



食料品 (例)	朝食	缶詰のパン、缶詰の果物	× 3日分
	昼食	カップラーメン	
	夕食	アルファ化米、レトルト食品	
飲料水	3リットル		

ライフライン (電気、ガス、水道) が停止していても、食べることができるものを備蓄しましょう

屋外にいる場合



建物や塀、自動販売機など倒れる恐れがあるものから離れて、頭を守りながら揺れが収まるまで待つ

屋内にいる場合



机の下などの安全な場所で、頭を守りながら揺れが収まるまで待つ

揺れているとき

地震による被害を最小限に抑えるには、慌てずに落ち着いて行動することが重要です。地震が起きたときの行動を確認しておきましょう。

地震が起きたときの行動

非常持ち出し品

皆さんが避難した際に、避難先で生活する上で必要な物をあらかじめリュックに入れ準備したものを非常持ち出し品といます。災害が発生したときに、スムーズに避難できるようにあらかじめ準備し、持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

基本的な持ち出し品



充電ケーブル
ACアダプター



モバイル
バッテリー



3日分の食料、飲料水



懐中電灯
ランタン



多機能防災ラジオ



乾電池



スリッパ



タオル



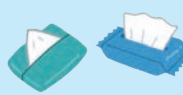
歯磨きセット



カトラリーセット



紙コップ、紙皿、
プラスチック皿



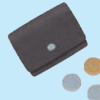
ポケットティッシュ、
ウエットティッシュ



アルミブランケット、
アルミ簡易寝袋



マスク



現金（小銭）



身分証明書
（写し）



衣類（下着、Tシャツ、
ジャージなど）



また、非常持ち出し品は各家庭によって必要な物が異なり、季節によっても必要な物が変わります。自分の家族が避難する際に何が必要になるか考えて、日ごろから準備し、定期的に中身を見直すようにしましょう。

必要に応じて追加

乳幼児がいる家庭



粉ミルク、離乳食



哺乳瓶、お椀、
スプーン



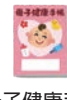
紙おむつ



おしりふき



抱っこ紐



母子健康手帳
（写し）



おもちゃ、絵本



乳幼児用
のお菓子

高齢者・介護が必要な方がいる家庭



補聴器



杖



老眼鏡



持病の薬、
お薬手帳



入れ歯洗浄剤、
洗浄シート



介護用品
（大人用おむつなど）

ペットがいる家庭



キャリーバッ
グ、ケージ



首輪、リード、
ハーネス



ペットフード、
食器類



ゴミ袋



ガムテープ



トイレ用品（ペット
シート、猫砂など）



おもちゃ



ブラシ



ペットの写真



薬

地震はいつ起こるか分かりません。市は地震をはじめとする災害に備え、さまざまな取り組みを行っていますが、災害時、慌てることなく、安全に行動するために、皆さん一人一人が災害に備え、日ごろから準備をしておきましょう。